

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [つくば市立春日学園義務教育学校] 担当教諭名 [寺島 清一] (7年 165名)
 相手国・地域 [レバノン]
 海外学校名 [Uruguay Public Mixed School-Achrafieh 1] 担当教諭名 [Rachel Chidiac]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	SDGs, 国際協働学習	9
	学級活動 学校行事(文化祭)	自国文化の良さ・他国の良さを認め発表しよう 文化祭・学級発表<学年テーマ:SDGs>	9
	英語	自己紹介・ビデオレターを作成しよう	4
	社会	世界の様々な地域の調査(レバノン)	3

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	差別のない, 持続可能な私たちの未来の街づくり
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	Realizing the importance of organizing and improving cities, and working to achieve safe cities for all and able to withstand negative and harmful factors at all levels and provide a healthy environment
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・海外の生徒たちと共通のテーマのもと, 一つの作品を仕上げられたという達成感を得た。 ・SDGsについて一人一人が研究・調査した内容をレポートにまとめ, 文化祭でクラステーマを決めて多様な形(アトラクション)で発表する機会を与えたことで, SDGsで求める願いについて理解を深めることができた。 ・地元つくばの良さ・魅力を再発見し, 他国の中に同様の良さ・魅力を見つけ出そうとする視点を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は, 相手国の政情不安や新型コロナウイルス等の避けられない事情が起きてしまったが, 交流国の国内事情を把握し, 早めの対応を計画する。 ・生徒間の学習意欲をより引き出すために, FORUM や学校ホームページを使って取り組み状況について積極的に発信すべきであった。 ・生徒同士の交流をより活発にするために, ICT 機器に習熟して, もっと容易に言葉の壁を乗り越え, TV 会議等を気軽に展開すべきであった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・中東(レバノン)の国や人々についてのイメージが, 「怖い」から「面白い」に変わった。 ・海外との交流するための言語は英語がすべてではないと実感した。 ・アラビア語やイスラム教への親しみが湧いた。 ・レバノンの国内事情や歴史について興味をもって調べようとする意欲が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流には英語だけではなく, 他の言語も必要であるという現実直面し, 多言語理解の必要性を痛感した。 ・中東レバノンについて様々な教科で取り上げて指導する機会を得たことで, 教材づくりの幅が広がった。 ・生徒の未知の分野に対する関心の高さと課題追究への意欲の高さに驚いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 ～ 7月 9月	つくば市の魅力再発見 レバノンについて調べよう 自己紹介文の作成 自己紹介ビデオレター作成	・交流国レバノンについての興味がわき、調査することで親しみをもった。 ・レバノンに実際に送信することを前提にして作成した紹介文なので、自然と情報量が多くなり表現力が高まった。	総合3 社会3 英語4
共有 テーマ学習	7月 ～ 9月 10月	SDGsとは？ 夏休み課題:SDGsレポート作成 レポート発表会 文化祭:クラステーマで教室企画発表	・全員が一人ひとり、差別のない街づくりについて、つくば市の中で関連する事柄を調べ、考えを積極的に発表できた。文化祭では集客の視点で楽しみの要素を加えて発表を楽しんでいた。	学活1 総合3 学校行事6
融合 メッセージ作成	10月 11月	実行委員会発足 TV会議(自己紹介・図案交換) 描いてみよう、「持続可能な未来都市つくば」	・図案・構図について、自動翻訳機を使いながらのやり取りであったが、レバノンの生徒と交流できた事実に感動していた。国歌への思いが強いことに驚いた。	学活1 総合2
創造 壁画制作	11月 12月	図案考案・作成	・思いが形になるのを見ながら、楽しんで作成していた。	総合1 放課後6
評価 振り返り 自己評価	3月	作品観賞・記念撮影	・臨時休校明けであったが、大喜びで作品を鑑賞し写真撮影に臨んだ。	学活1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	日本の良さについて地元つくば市を題材にレポートし発表できた。
異文化を理解する力	5	中東レバノンやイスラムの文化について興味をもって調べ発表することができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	翻訳ソフト等を使いこなし、アラビア語の文献にも調査にあたった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	自己紹介文やビデオレターの作成で、情報量が豊富な英文を相手が読みやすく聞きやすくなることを意識して取り組んでいた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	日本(つくば市)とレバノン(ベイルート)を平等な視点で比較しながら、調査に当たっていた。
主体的に考え行動する力	4	文化祭の学級発表では、生徒主体に、発表内容や方法について、来場者に楽しみながら伝わるような企画について話し合いを進めていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	ビデオレター作成や文化祭での教室発表での取り組みで協働できた。同じテーマで一枚の絵を完成させた事実に喜びを共有できた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	壁画構図について、互いに国や文化を比較できる点を考えながら、進められていた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	臨時休校の合間で短い時間であったが、完成した絵を見た時の表情が輝いていた。